

これで見納め！欽ちゃん野球 最後のみやぎ大会！



“日本製紙石巻総監督に
元東北楽天監督 **田尾安志**氏決定！”



日本製紙石巻 (3塁側)

VS

G 茨城ゴールデンゴールズ (1塁側)

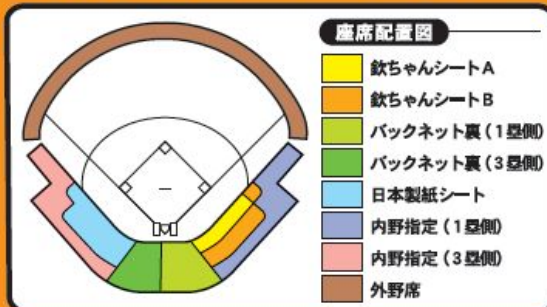
11月21日(日) 仙台市民球場

試合開始 **13:00** (開場 **11:00**) (仙台市新田東総合運動場内 JR仙石線小鶴新田駅から徒歩10分)

※4歳以上有料・3歳以下保護者同伴に限り無料 少雨決行。荒天の場合は中止となります。

席種	前売り	当日
欽ちゃんシート指定A (内野1塁側)	2,500円	3,000円
欽ちゃんシート指定B (内野1塁側)	2,000円	2,500円
バックネット裏指定 (1塁側、3塁側)	2,000円	2,500円
日本製紙シート指定 (内野3塁側)	1,800円	2,300円
内野指定 (1塁側、3塁側)	1,500円	2,000円
外野自由 大人	1,000円	1,500円
外野自由 子供 (4才以上～中学生まで)	500円	500円

◆車椅子席のご利用はTBC事業部までお問合せください◆



プレイガイド
ローソンチケット
【Lコード:28270】
チケットぴあ
【Pコード:817-167】
e+ (イープラス)
<http://eplus.jp>
藤崎、仙台三越、ローソン
セブン・イレブン、サークル
Kサンクス、ファミリーマート

【主催】TBC東北放送 【後援】仙台市 【協賛】日本製紙株式会社 FUJISAKI

お問合せ TBC事業部:TEL022-227-2715 (平日9:30~17:30) 大会事務局/モバーク:TEL022-722-8910 (平日10:00~17:00)

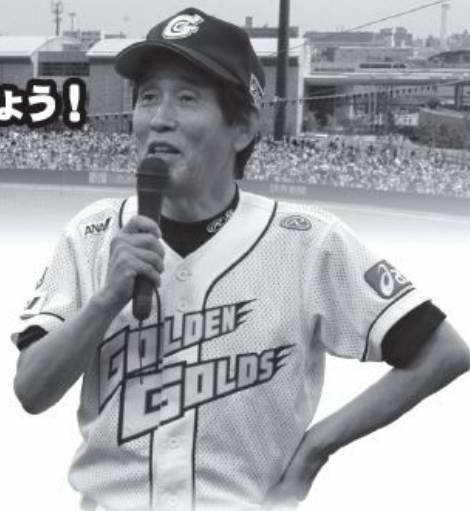
チケット好評発売中!

交通アクセス▶▶ JR仙石線または仙台市営バスをご利用ください
●JR仙石線小鶴新田駅 徒歩10分
●仙台市営バス小鶴新田駅行き 新田東中央バス停下車徒歩6分
ご来場には公共交通機関をご利用ください。場内の駐車場(有料)には限りがあります。近隣店舗や路上などへの駐車はできません。

**欽ちゃんのお笑いパワーが球場を元気にします！
ファイナルとなる今年も、みなさん一緒に笑いましょう！**

茨城ゴールデンゴールズ

茨城ゴールデンゴールズ（いばらきゴールデンゴールズ、IBARAKI GOLDEN GOLDS）は、「欽ちゃん」ことタレント・萩本欽一が2005年に創設した、社会人硬式野球クラブチーム。「社会人野球の実業団（企業）登録球団が相次いで廃部の傾向にあること、またプロ野球も再編の波に押されるなど、野球界全体が揺れ動いていることを憂い、少しでも野球界の活性につながれば」とこのチームを結成することを決心。萩本自らがオーナー兼監督を務め、同年に日本野球連盟へ加盟。別名「欽ちゃん球団」、「GG」、「茨城GG」。チーム名称、ロゴマーク、マスコットはコピーライターの糸井重里氏によって作られ、社会人野球の頂点（金メダル）を目指して取り組む姿勢や「金の中の金」を目指すチームと言う意味合いが込められている。



日本製紙石巻硬式野球部

日本製紙石巻硬式野球部は、1986年に日本製紙（当時は十條製紙）石巻工場で発足しました。日本野球連盟に所属し、社会人野球チームとして選手24名、スタッフ5名の29名で活動しており、宮城県石巻市に本拠地を置いています。2010年、第81回都市対抗野球第一次予選宮城県大会および第二次予選東北大会でいずれも初優勝を果たし、初の全国大会出場を決めました。試合以外に、地域の青少年育成のための野球教室の開催、地元高校生との合同練習による交流などの社会貢献活動も行っています。



日本製紙石巻 総監督 田尾 安志

誕生日/1954年1月8日
出身地/大阪府
出身校/泉尾高校 同志社大学

1976年 ドラフト一位指名で中日ドラゴンズに入団 最優秀新人賞を受賞
1985年 西武ライオンズへ移籍
1987年 阪神タイガースへ移籍
1991年 阪神タイガース退団、引退
1992年 野球解説者・タレントとして活動開始
2001年 アジア大会で全日本代表チームのコーチに就任。
2005年 東北楽天ゴールデンイーグルスの監督に就任。
2005年～9月25日限りで退任。以降、野球解説者としての活動を再開。
バラエティ番組メインパーソナリティや情報番組キャスターと、活動の場を広げている。

交通のご案内



**今日もつくってます。
人に、地球に、うれしい紙の未来。**

「読む」「書く」「包む」など、紙は毎日の暮らしに欠かせない大切な素材。そして、自然の恵みである「木」を原料とする紙は「使ったら終わり」ではなく、再生が可能な循環型素材です。環境に配慮した“地球にやさしい紙づくり”を基本とする日本製紙は、時代の流れや用途に応じて「よりよい製品」へと紙を進化させています。



日本製紙株式会社

東京都千代田区一ツ橋1-2-2 〒100-0003 TEL.03-6665-1111 www.np-g.com/

